

社協だより ONAGAWA



お花見を満喫しました

今年も、うみねこ園では日和山へお花見に行ってきました。

お花見当日は、晴れた天気のもと、ちょうど見ごろを迎えた満開の桜の下で、有意義な時間を過ごすことができました。

春の陽気に包まれながら、素敵な笑顔の利用者さんたちを見ることができました。（詳細は6ページのうみねこ園だよりに掲載）

6
JUNE.2025

この広報誌の発行には、皆様から頂戴した会費と共同募金からの配分金を使わせていただいております。

収支予算の概要

《事業計画の概要》

本町の推計では、今後、さらに高齢化が進み75歳以上の割合が高くなるとしており、年齢を重ねても体を動かし、他者との交流を持ちながら住み慣れた地域で日常生活が維持できるよう介護予防等は重要なものと思われます。

また、今は高齢者が「地域の担い手」として行っている地域活動や伝統・文化を若い世代にバトンをつなげ、「地域のつながり」を維持することが、どこの地域においても大きな課題であります。

近年、国内各地で多発する地震や豪雨などの自然災害、感染症の流行、物価高騰やウクライナなどで長期化する戦争による国際情勢の悪化など、私たちの生活に暗い影を落としていますが、このような状況だからこそ、地域の住民が自主的・主体的に地域と関わり、助け合い、ともに住み慣れた地域で安心した暮らしができるよう「地域づくり」への取り組みが求められています。

本会では、令和7年3月に令和7年度から令和11年度までの5年間を計画期間とする「第6次女川町地域福祉活動計画」を策定し、「一人ひとりの幸せに向けてつながり合い支え合う みんなのまち おながわ」を基本理念に以下の4つの基本目標を掲げ、この目標達成に向けて各事業を展開してまいります。

《4つの基本目標》

- 1 みんなが認め合える・支え合える人づくり
- 2 みんなが参加し、活躍できる場づくり

- 3 みんながつながり安心できる地域づくり
- 4 安定した法人運営

《令和7年度の重点事項》 令和7年度の事業実施にあたり、 以下の重点事業を定め各事業に取り組んでまいります。

(1) 地区活動への支援強化

地域の担い手となり得る若年層への地域活動に対する意識の醸成や地域での見守りや声掛け活動等へ自主的に協力する住民の拡大に取り組みます。

(2) 包括的支援体制の強化

相談者の生活課題の解決に向けて、関係機関との連携による継続的な相談体制を行います。また、地域や地元企業、各団体、学校等との連携による、相談支援を行い、包括的に支援する体制の強化に努めます。

(3) 福祉教育の実施とボランティア登録

学校教育と連携しながら、福祉教育に取り組みます。また、ボランティア講座を開催し、ボランティア活動への関心を高め、登録者を増やしています。

(4) 権利擁護に関する取り組みの充実

日常生活自立支援事業（まもりーぶ）や後見制度を必要とする方に適切に事業を提供し、自立した生活が維持できるよう支援します。

(5) 生活支援体制整備事業の強化

高齢者が住み慣れた地域で日常生活を送れるよう、地域や様々な団体等と連携して、生活支援・介護予防サービスの提供体制を構築し、地域の支え合い体制づくりを推進します。

(6) 地域包括支援センターの運営

高齢者の身体及び認知機能の低下防止と生きがいを持ちながら、住み慣れた地域で自立した生活ができるよう支援します。

(7) 地域活動支援センターうみねこ園の運営

本センター利用者の意向を大切にし、日常生活や社会生活を安心して過ごせるよう支援します。また、交流や社会参加を通して社会との繋がりを図るとともに、ボランティアの協力を得ながら、様々な活動の充実を図ります。

(8) 職員の資質向上に向けた支援

職員研修の実施や必要な資格・免許の積極的な資格取得を促し、職員の資質向上を図り、円滑な事業の運営を図ります。

(9) 組織の基盤強化と財政安定化

社会福祉法に規定される公益性の高い民間福祉団体として、その使命を実現するために基盤強化と健全な運営を図ります。また、経営状況と経費削減を職員全体で共有し、安定した経営を図ります。

(10) 第6次女川町地域福祉活動計画の実行

本計画の活動初年度にて、新たな課題に向き合い、行政や関係機関、地域住民と連携を図り計画の推進に努めます。

「令和7年度事業計画と

《収支予算》

収入合計 138,192,000 円	支出合計 137,692,000 円
事務局 58,691,000円 ※会費や寄附金・補助金や助成金など	事務局 58,691,000円 ※法人運営やその他各種事業を実施していくための費用
地域包括支援センター 37,337,000円 ※町からの受託金・介護報酬など	地域包括支援センター 37,337,000円 ※地域包括支援センターを運営していくための費用
うみねこ園 27,235,000円 ※町からの障害福祉サービス等事業収入など	うみねこ園 27,235,000円 ※うみねこ園を運営していくための費用
生活支援体制整備事業 7,273,000円 ※町からの受託金	生活支援体制整備事業 7,273,000円 ※生活支援体制整備事業を運営していくための費用
シルバー人材センター 7,656,000円 ※会費・配分金収入など	シルバー人材センター 7,156,000円 ※シルバー人材センターを運営していくための費用

職員紹介

令和7年度も職員20名が力を合わせて
地域福祉の推進に努めてまいります。

事務局		女川町地域包括支援センター	
事務局長	伊藤富士子	管理者兼保健師	鈴木佳子
総務係		社会福祉士	島田圭子
事務局次長兼総務係長	鈴木康太郎	主任介護支援専門員	佐々木千恵
主事	酒井陽菜	社会福祉士	隅田和紀
主事(地域福祉係兼務)	久保侑大	介護支援専門員	阿部佳代子
地域福祉係		女川町地域活動支援センター うみねこ園	
事務局次長兼地域福祉係長	千葉信二	施設長兼主任指導員	平塚としえ
主任	須田めぐみ	指導員	遠藤和剛
事務補助員(総務係兼務)	今野里美	指導員	木村美雪
生活福祉資金相談員	及川浩敏	指導員(日中一時支援事業担当)	浜野恵
生活支援コーディネーター	住吉いづみ	指導員(日中一時支援事業担当)	狩野裕子
生活支援コーディネーター	小野寺美紀子		

各種貸出しサービスのご案内

本会では、住民の皆さんのが住み慣れた地域で安心してその人らしい生活を送るためのお手伝いもしております。お困りの際は、ぜひご活用ください。

ふれあい福祉バスの貸出

サービスの内容

この貸出しサービスは、町民の福祉の増進を目的とし、概ね10人以上の団体が、研修、視察、大会等に利用することとしております。

なお、車両については、29人乗りマイクロバスの貸出しどなり、

普通自動車免許では運転できませんのでご注意下さい。

また、車両のみの貸出しどなりますので、運転手につきましては、利用される団体に手配していただいております。

利用を希望される際は、予約状況や条件等を事前にご確認下さい。



【利用申請の手続き方法】

- (1) 利用を希望する団体は、利用予定日の**予約**を行なう必要があります。
- (2) **予約期間**については、**利用予定日の4週間前から2週間前までの間**となっております。
- (3) 予約後は、利用予定日の3日前までにふれあい福祉バス利用申込書に行事開催要項等の利用日の内容が分かる書類及び、運転者の運転免許証の写しを添えて提出をお願いいたします。

【対象団体】

利用できる団体は次のとおりとなります。

- (1) 本会支部
- (2) 社会福祉関係団体
- (3) 児童・生徒の健全育成のための活動団体
- (4) その他本会会長が適正と認めた団体

【利用料】

利用料は無料ですが、燃料を満タンにしての返却をお願いいたします。

車いすの貸与

サービスの内容

本会所有の車いすの貸与を行っています。貸与期間に特に定めはなく、ちょっとしたお出かけや通院時の利用、長期間の使用も可能です。



なお、長期間使用される場合は、本会でメンテナンスをさせていただきます。利用を希望される際には、台数に限りがございますので、事前にご確認下さい。

【対象者】

町内在住で介護を必要とする高齢者並びに身体に障害を抱える状態であり、下肢不自由の歩行困難な方。

【利用料】

短期間の場合（概ね1週間以内）は無償貸与となり、長期間の場合は、貸与時に**5,000円**を貸出料及びクリーニング代として頂戴いたします。

車いすリフト付き車両の貸出

サービスの内容

車いす2台を搭載できるリフト付き車両（トヨタハイエース）の貸出しどなります。



ただし、車両のみの貸出しどなりますので、運転手につきましては、利用される方に手配していただいております。利用を希望される際は、予約状況等を事前にご確認下さい。

【対象者】

使用者の方が町内に住所を有し、歩行による移動が困難なため、病院への入退院や通院、施設への入退所において車いすを使用している方。

【利用料】

走行距離により算出します。乗り始めから5kmまで**500円**、その後は2kmで**100円**ずつ加算されます。

【このページに関する申込方法】

上記サービスの利用を希望される方は、来所または電話（P 8参照）にて問合せください。

生活支援コーディネーターの 「いいものみ～つけ！」 NO.37

地域大交流会開催！

令和7年3月26日、まちなか交流館を会場に、一般社団法人コミュニティスペースうみねこのコミュニティ支援で関わりを持っている地区の方々が集まり、「地域大交流会」が開催されました。

第一部のワークショップでは、様々な手づくり体験が行われ、浜ばっぱの会の新聞バックづくりや西区はっぴー会の香り袋づくり、女川町内にある事業所からの協力で、「おしゃれな婦人服の店のダイシン」さんのアロマハンドクリームづくりや「ふらわ～しょっぷ花友」さんのホウキの壁飾りづくりの体験もできました。



また、想い出の写真アルバムづくりでは、これまで地区で開催してきたワークショップ開催時の写真約1000枚の中から思い思いの写真を選び、世界に一つだけのオリジナルアルバムを完成させていました。

ホウキの壁飾りづくり



地元の事業所の皆さんと住民の皆さんが今後も繋がりを持つ機会が増えていきそうです。

想い出の写真アルバムづくり



第二部では、地域の芸達者さんによる演芸発表が行われ、踊りや唄で会場を盛り上げてくれました。見る側はもちろんですが、披露する側も「すごく楽しかった～。」ととびっきりの笑顔で話してくれました。

「おらが江の島」



「どじょうすくい」



「大漁唄いこみ」



日本舞踊「南部蟬しぐれ」



～お知らせ～ 楽しく脳トレ!

コミュニケーション麻雀の集い

日時：6月23日（月） 14:00～15:30

場所：女川町社会福祉協議会 多目的室・会議室

*コミュニケーション麻雀を通した交流の場を開催します。

*性別も地区も関係なくどなたでも参加できます。
自分の時間に合わせて途中退席もOKです。
お気軽にご参加ください。



地域ズームアップ

社協入り口前の展示コーナーが模様替えしました！

つるし雛、ブローチや小物などすべて住民さんが手作りした作品を季節に合わせて展示しています。

今回も素敵な作品を展示していますので近くにお越しの際はぜひお立ち寄りください。

展示コーナーに飾ってほしい作品などありましたら、生活支援コーディネーターまでご連絡下さい。



上記に関する問い合わせ先 女川町社会福祉協議会 0225-53-4333 生活支援コーディネーターまでご連絡ください。

うみねこ園だより



春はお花見へGO !!

今年もボランティアさんと一緒に訪れた日和山。目的は**お花見**です！前日にみんなで作ったてるてる坊主が功を奏したのか当日は絶好のお花見日和♪

日和山では、お弁当を食べたり、お団子を食べたり、シートの上に寝転んだりと楽しめた様子でしたが、風が強いために早めに切り上げたので、お散歩の時間が短時間となってしまいました。

来年はたくさん食べた分も、しっかりと歩きたいものですね！



生涯学習講座

女川町教育局加納純一郎さんを講師として実施している生涯学習講座「**ちょっぴり 楽しみ 学び かかわり ともに生きる**」も、4月から3年目がスタートしました。

前年度も、ペットボトルなどを利用した簡単なものづくりに、懐かしの歌謡曲で大盛り上がりのレコード鑑賞、運動不足解消のための軽運動など、様々な活動を経験した1年となりました。それに加えて、新たに、加納さんの「映画館のような雰囲気の中で鑑賞して欲しい」との想いにより生涯学習センターのホールでの映画観覧会や、女川駅前広場にメッセージなどを書いたたくさんの黄色いハンカチを飾るというプロジェクトにも参加させていただくなど、より活動の幅が広がった1年となりました。

今年度もどんな1年になるのか…とても楽しみです！



女川町手をつなぐ親の会の総会開催に際し、毎年恒例となった**うみねこカフェ**と称して利用者さんが出席されたみなさんへコーヒー やお茶などの飲み物を提供しました。

会議中とあって利用者さんは緊張しながらも、注文を聞き、なかには、あらかじめ練習していたこと以上のサービスをしようと張り切る利用者さんも…！きっと、おもてなしの気持ちが強く出てしまったのでしょうか。無事に終了してほっとした様子の利用者さんたちでした。

またのご利用お待ちしております！



身の回りのお困りごと
お気軽にご相談ください
仕事の依頼募集

女川町シルバー人材センターでは、皆さまから仕事の依頼をお受けしております。

家の掃除や網戸・障子の張り替え作業、庭の草むしりやお墓掃除などありましたら、本センターへご用命ください。作業前には、見積金額をお示ししご納得いただいたうえで、作業させていただきますので安心してご依頼ください。

見積依頼だけでも構いませんので、ぜひお気軽にお問合せください。

【料金目安】

内 容	金 額 (1時間単価) ※作業は 2名以上 で行いますので ×人数となります。
除草作業 (刈払機使用)	一人につき、1,300円~
上記以外の除草作業	一人につき、1,020円~
清掃や調理作業	一人につき、1,020円~

※料金については**あくまでも目安**になります。現場の状況により異なりますので、現場を確認のうえ正式な見積金額をお示しさせていただきます。

【問合せ先】女川町シルバー人材センター TEL: 0225-53-4333 担当：千葉・須田・伊藤



**宮城県内で活動する
災害ボランティア募集**

宮城県社会福祉協議会（みやぎボランティア総合センター）では、宮城県内で発生した災害に備えて**令和7年度災害ボランティア事前登録**が始まりました。

これは、平時から災害ボランティア登録を行い、災害が発生した際に被災地域の災害ボランティアセンターからメールで活動情報が配信される取り組みです。

毎年度ごとの登録となりますので、令和7年度分の事前登録、また、災害発生時にはボランティアとして被災地での活動のご協力を

よろしくお願ひします。



●登録方法：こちらのQRコードから登録画面にお進みください。



**町内で活動してみませんか？
ボランティアグループ
『うみねこ隊』会員募集**

本会では、ボランティアセンターを開設し、ボランティア活動の支援や調整等を行っており、**女川町内でボランティアとして活動いただける方を随時募集**しています。

メニューにより時間は異なりますが長くても40分以内の活動です。



主なボランティア活動

ゴミ捨て・庭木の手入れ
草むしり・電球交換・家具の移動
粗大ごみの廃棄・犬の散歩
安否確認の声掛け（電話・訪問）
話し相手 など

年齢や経験・未経験は問いません。
お気軽に下記担当者までお問合せください。

**【問合せ先】宮城県社会福祉協議会
みやぎボランティア総合センター
TEL:022-739-9843**

**【申込・問合せ先】女川町ボランティアセンター
(女川町社会福祉協議会内) 担当：千葉
TEL:0225-53-4333**

皆様の善意に感謝申し上げます。

皆様から頂く寄附金は、広報紙の発行や小中学校で行う福祉学習、ボランティアセンター事業や生活困窮者への支援などに充当させていただいております。

今後とも、皆様のご理解をよろしくお願いします。

よりよい地域をつくるための
社協会員の皆様



社協会員の皆様からいただいた会費は、地域福祉の充実に向けた事業を実施するための貴重な財源として大切に活用させていただきます。

特別会員【4月1日～5月9日受付分】

行政区	氏名
浦宿一	(有)女川レンタカー
浦宿二	土井 賢亮
//	三宅 哲也

行政区	氏名
小乗	阿部 求
竹浦	鈴木 誠喜
石巻市	宮本 美智

賛助会員【4月1日～5月9日受付分】

行政区	氏名
大沢	阿部 美喜子
浦宿一	勝又 義郎
浦宿二	伊藤 賴夫
//	三宅 仁子
浦宿三	青木 すい子
針浜	木村 哲夫
旭が丘	神橋 凜
//	鈴木 やつ子
//	鈴木 義明
上一	遠藤 悅子

行政区	氏名
上二	朝倉 敬悦
//	阿部 喜子
上三	杉山 真弓
西	木村 和加子
横浦	木村 登志子
女川北	大壁 よし子
女川南	平塚 京子
大原北	木村 廣靖
//	平山 トキ子
大原南	佐藤 えい子

行政区	氏名
大原南	高橋 智子
清水	平塚 由彦
//	三浦 ひとみ
宮ヶ崎	遠藤 孝子
//	齋藤 俊美
//	佐藤 由理
石浜	遠藤 美恵子
尾浦	八巻 英成
寺間	阿部 綱子
江島	平塚 恵美



本会評議員の退任について

これまで、本会の評議員としてご尽力いただきました『菅原 智 氏』が令和7年3月31日付けで退任されましたのでご報告いたします。本会の運営にご尽力賜りありがとうございました。

【広報紙に関する問合せ先】 社会福祉法人女川町社会福祉協議会 TEL:0225-53-4333